



平成 29 年 4 月 6 日

各 位

会 社 名 株式会社セブン&アイ・ホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 井阪 隆一  
(コード番号 3382 東証第一部)  
問合せ先 執行役員 IR 部シニアオフィサー 金子 裕司  
(TEL. 03-6238-3000)

## 事業セグメントの変更に関するお知らせ

当社は、本日（平成 29 年 4 月 6 日）開催の取締役会において、平成 30 年 2 月期より事業セグメントを変更することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 変更の理由

当社は平成 28 年 5 月に発足した新経営体制のもと、同年 10 月に中期経営計画を発表し、平成 32 年 2 月期の数値目標として営業利益 4,500 億円、ROE10%を掲げました。その中期経営計画の推進に向け、マネジメントアプローチによるセグメント管理をより強化いたします。

#### 2. 事業セグメント変更の概要

従来の「コンビニエンスストア事業」、「スーパーストア事業」、「百貨店事業」、「フードサービス事業」、「金融関連事業」、「通信販売事業」、「その他の事業」の 7 区分から、「国内コンビニエンスストア事業」、「海外コンビニエンスストア事業」、「スーパーストア事業」、「百貨店事業」、「金融関連事業」、「専門店事業」、「その他の事業」の 7 区分に変更いたします。

新事業セグメントでは、「コンビニエンスストア事業」を成長の柱と位置づけ、環境与件の異なる国内と海外に分けて管理いたします。さらに、「フードサービス事業」及び「通信販売事業」に代えて「専門店事業」を設け、各事業セグメントに分かれていた専門店を集約いたします。今後、お客様のライフステージ・ライフシーンに対応した商品やサービスを提供する「専門店事業」として強化してまいります。

なお、新セグメントにおける企業集団の状況につきましては、平成 29 年 2 月期決算短信の 12～13 ページを、平成 30 年 2 月期予想及び前年実績につきましては 7 ページをご覧ください。

従来のセグメント	国内と海外に分離	新セグメント	主な事業会社
コンビニエンスストア事業	→	国内コンビニエンスストア事業	(株)セブン-イレブン・ジャパン (株)セブン・ミールサービス SEVEN-ELEVEN HAWAII, INC. セブン-イレブン(中国)投資有限公司
スーパーストア事業	→	海外コンビニエンスストア事業	7-Eleven, Inc. SEJ Asset Management & Investment Company
百貨店事業	→	スーパーストア事業	(株)イトーヨーカ堂 (株)ヨークベニマル (株)ヨークマート (株)シェルガーデン 成都伊藤洋華堂有限公司
フードサービス事業	→	百貨店事業	(株)そごう・西武 (株)ごっつお便
金融関連事業	→	金融関連事業	(株)セブン銀行 (株)セブン・フィナンシャルサービス (株)セブン・カードサービス (株)セブンCSカードサービス
通信販売事業	→	専門店事業	(株)セブン&アイ・フードシステムズ (株)赤ちゃん本舗 (株)ロフト (株)ニッセンホールディングス
その他の事業	→	その他の事業	(株)セブン&アイ・クリエイトリック (株)セブン&アイ・ネットメディア (株)セブン&アイ出版

(注) ———→ セグメントの変更  
 ----> セグメント内関係会社の変更

### 3. 新セグメントにおける成長戦略

(1) 「コンビニエンスストア事業」を成長の柱とし、環境与件の異なる国内と海外を分離して管理

①国内コンビニエンスストア事業	「揺るぎない絶対的な競争優位」の確保 <ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗の立地×商品×サービスの三位一体の改革</li> <li>・サプライチェーン全体で進化し、「質」を追求 → 利益成長の加速</li> </ul>
②海外コンビニエンスストア事業	出店及び商品力強化により市場シェアを拡大し、成長加速 <ul style="list-style-type: none"> <li>・出店地域の市場環境を踏まえ、今後M&amp;A等も実施 → 出店拡大</li> <li>・ファストフード強化に向けたインフラの整備</li> <li>・マーケットに合う商品・サービスの「質」の向上</li> </ul>

(2) 「選択と集中」「総合スーパー（GMS）・百貨店事業の再生」を推進

③スーパーストア事業	事業構造改革を推進 ・ GMSを中心に不動産再開発と店舗構造改革を推進 ・ 首都圏食品強化
④百貨店事業	事業構造改革を推進 ・ 基幹店に資源集中

(3) お客様のライフステージ・ライフシーンに合わせた価値の提供により成長力を強化

⑤金融関連事業	ライフステージに密接に関連する金融事業を発展
⑥専門店事業	特徴のある商品・サービスを提供する専門店を強化

(4) セグメントの整理

⑦その他の事業	①～⑥に含まれない「不動産事業」「コト事業」等
---------	-------------------------

以 上